

事業概要	食べられる庭・森作り。パーマカルチャーを利用したのサスティナブル・デザインとコンサルティング。 ※パーマカルチャーとは自然と人と生物のつながりを互いに豊かにしあえるためにそれぞれのリソースを豊かにしあうことで、持続可能性を実現するためのデザイン体系です。
部署	造園部 コンサルティング部
所在地	〒433-8125 静岡県浜松市中区和合町 952 番地の 14
連絡先	(電話番号) 080-4225-0486 (E-mail) pct.garden@gmail.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	再生不能資源の利用を減らし、資源マイレージの負荷を軽減するために再生可能資源の創出を地域から個人の生活環境まで、それぞれのニーズに合わせた自然資源や生物資源に満たされた場生み出すことを目指します。 また人の暮らしによって汚染物質を生み出さない住居環境やランドスケープのデザイン。また、汚染が浄化・資源が破壊された場所の再生をデザインし、究極的には人の生活が、人も自然も生き物たちの豊かにする人間社会デザインと、生態系社会を実現を目指します。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	観光ビジネス／エネルギー／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／健康・福祉／防災	
	1.観光ビジネス	主要観光スポットなどに、食べられる道・食べられる公園・食べられる公園などの導入。	
	2.アグロフォレストリー(森林農業)などによる、重層的に植物をデザインし、持続可能なバイオマスエネルギーの森をつくる。またはソーラパネル下への有用・食用好陰性植物の導入による。エネルギー生産農地のデザイン。		
	3.アグロフォレストリー(森林農業)地場特産品(農産物)で満たされた森または森のような、生態系復元型農園を作る。マリン・パーマカルチャー(水産資源再生のデザイン・または水産資源復元農地のまたはインフラのデザイン)(農地→水産領域への流域デザイン)。		
	4. 地域や地方循環が可能な資源利用デザインと、資源生産デザイン、資源配置デザインのゾーニングの提案・地域の自然資源最大化実践的研究提案など。		
	5.森林セラピーの要素や園芸療法・作業療法としてのガーデニング。フォレストガーデン(食べられる森の菜園)作りなど。		
	6.学校や地域集会所などの避難場所、公有地、耕作放棄地・放置山林のフォレストガーデン(食べられる森の菜園)化、地域の身近な場所に食べられる森があることによって、生態系復元だけでなく、災害時のバックアップとしても利用する。また、レインガーデン(雨水集水ガーデン)の設置による。洪水の緩和と、土壌汚染のケアや地下水保全・再生の提案。		
	URL	<a href="https://www.permaculturedesignlab.com/">https://www.permaculturedesignlab.com/</a>	パーマカルチャーデザインラボ
		<a href="https://www.theartofforestgarden.com/">https://www.theartofforestgarden.com/</a>	ジ・アート・オブ・フォレストガーデン(当社実験サイトのHP)
		<a href="https://www.facebook.com/pctdesignlab">https://www.facebook.com/pctdesignlab</a>	Facebook
上記ソリューションを提供できる地域について	全国※状況による、中部東海地方		

## 自者の特徴

- ・ 静岡県浜松市西区大久保町自治体 里山育成会に向けて、フォレストガーデン(食べられる森の菜園)のデザイン・施工の提供
- ・ 菊川西中学校ESD教育の授業カリキュラム作成と、講師提供  
※2019年文部科学大臣賞受賞
- ・ 焼津市立小川小学校 総合学習プログラム提供
- ・ 浜松市立佐鳴台小学校 総合学習プログラム提供
- ・ 愛知県岡崎市スノーピークビジネスソリューションズにて、食べられる庭のあるオフィスの提供。働き方の改革の一環として『食べ物の採集空間』と『オフィス空間』という、ある意味人類の歴史の両極を融合させた社会実験的アプローチを提案。
- ・ 石垣島 白保サンゴ村にて、サンゴを守る一つの手法の提案として、化成肥料によらない農園・園芸システムとしてのフォレストガーデンの施工。
- ・ 静岡県浜松市中区葵町 はぐみな保育園にて、食べられる園庭のデザインと施工の提供
- ・ 神奈川県川崎市 自立就労支援事業 自然堂にて、園芸カリキュラムのデザインと、そのフィールドである食べられる庭のデザイン・施工の提供

私たちの得意としていることは様々な活動や事業領域に対して、自然資源・生物資源・人的資源を統合して持続可能性をもつ豊かさを生み出すデザイン提案し、それを生み出すことです。私たちは農業など、一部の産業に特化してその成長を最大化することができませんが、農業・林業・水産業・園芸・福祉・教育・環境保全・地域コミュニティづくりなどの多様な要素が生かし合う形で統合され、生態系がもっとも豊富な状態である『森』のように、様々な生き物たちによって、多様性に富んだ生態系サービスを最大化します。

また、それらのバランスを取り、一部の産業や分野ができるだけ他を損なうことのない成長から成熟のため生態系デザインを、そこに住まい、そこに関わる人々とともに考え、実験的実践を行い続けていきます。

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

私たちが経営しているパーマカルチャーのデザインは、家庭から地域まで幅広い持続可能性を持った生活システムのデザインなど、SDGsで貢献できるものが多々ありますが、それを発揮できる場所や機会がまだまだ不足していることと、またそのようなニーズをもつ顧客やパートナーサイドにそれを実現するために資金繰りが難しいなどが悩みです。植物や生物環境の場を整えるデザインやそれを実際に施工する現場施工などが私どもの強みとしてあるのですが、より実践的な行動を促すために生物資源の研究者の方とのつながりやご縁をいただく機会があまり多くありません。今後の持続可能なアプローチや技術発展のために生物資源の効果やリスク、発展性など、エビデンスなどを持った研究機関の方と繋がれることを望んでいます。